

社会福祉法人 北の大地だより

平成22年9月発行
通巻第6号



↑ 「ぼんちまつり」素人縁日に出店しました（7/16～7/18）

第6号目次

- 北の大地を囲む会が開催されました / 軽食喫茶てんてこまいだより (2頁)
- 「トライアル雇用制度について」 / 事業別利用者数状況 (3頁)
- 行事報告 / メンバー寄稿 (4～5頁)
- 新入職員紹介 / 地上デジタル放送受信支援について (6頁)
- ご寄付御礼 / 賛助会から (7頁)

第3回「北の大地を囲む会」が開催されました

去る6月11日（金）に開催されました第3回「北の大地を囲む会」は、炎天下の中関係各位のご協力により、約700名の方々のご来場をいただき、盛況のうちに終了することができました。昨年に引き続き厳しい経済情勢下にも関わらず、多くの市民の皆様、企業・団体の皆様のご協力を賜り心よりお礼申し上げます。また、抽選会に景品等のご提供をいただきました皆様方には、あらためて深く感謝申し上げます。お陰をもちまして熱気あふれる抽選会となり、参加された皆様方にもお楽しみいただけたかと思えます。

今年は初めて、メンバーの日常の活動内容について写真展示させていただき、参加者の多くの皆様に活動状況についてご理解いただけたかと考えております。

総計999枚のチケットをお買い上げいただき、1,067,223円の収益金ができ、今後の施設・設備整備関連の基金として積み立てることができました。

皆様の温かいご支援を力に、支援を必要としている方々のために、精神保健福祉事業の充実と発展に向け邁進していく所存であります。

北の大地を囲む会
実行委員長 鈴木 正末

第3回 北の大地を囲む会 決算報告

収入	（チケット売上げ 2,000円 × 999枚）	1,998,000円
支出	（ビール代、おつまみ代、会場使用料等）	930,777円
純利益		1,067,223円

※ 上記、利益金については、北の大地を囲む会実行委員会より社会福祉法人北の大地へ寄付され、社会福祉法人北の大地で基金として積み立てされます。

軽食・喫茶てんてこまい便り

「軽食・喫茶てんてこまい」では、暑い日にオススメのさっぱりメニューも豊富に取りそろえています。皆様のお越しをお待ちしています！



↑ざるラーメンも人気です！

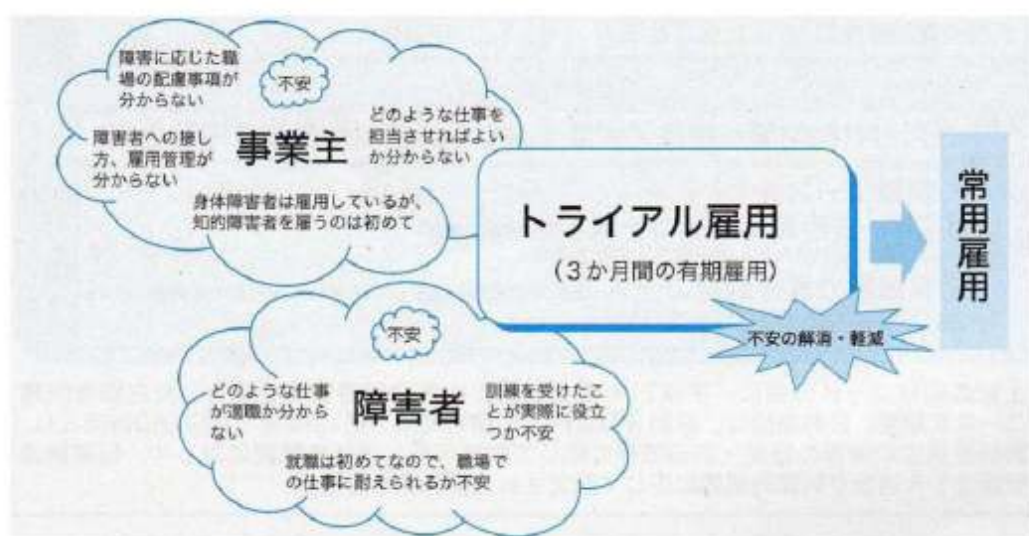


★ 頑張ってます!! トライアル就労 ★

現在、就労移行支援事業所では2名の利用者が6月17日からトライアル雇用制度を利用し、市内のパン屋で働いています。パンの袋詰めやシール貼り、作業場内の清掃等を、従業員の方々や同じ障がいを持った他施設の利用者と共に日々取り組んでいます。

トライアル雇用って??

トライアル雇用事業とは、障がい者に関する知識や雇用経験が少ないため、障がい者雇用をためらっている企業に、障がい者を試用雇用（トライアル雇用）の形で受け入れてもらい、本格的な障がい者雇用に取り組むきっかけづくりを進める国の事業です。期間は原則3ヶ月で、事業主と対象者により有期雇用契約を結びますが、途中で常用雇用に移行することも可能です。また、トライアル雇用を実施した事業主に対しては、トライアル雇用終了後に奨励金が支給されます。



利用者数状況 (平成22年 7月 31日現在)

	就労継続支援 (B型)	就労移行支援	自立訓練 (生活訓練)	生活介護	通所全体
定員	30名	6名	15名	6名	57名
利用者登録数	43名	7名	26名	8名	84名
1日の 平均利用者数 (7月)	34.3名	4.8名	9.4名	5.5名	54.0名

	グループホーム (共同生活援助)						
	北進1号	北進2号	北進5号	本町	玉水苑	三条	綺羅
定員	6	7	8	6	8	8	8
入居者数	6	7	8	6	8	8	8

※グループホーム入居者数には、入院中の方も含む。

■札幌ドーム野球観戦旅行を行いました！

6月26日（土）、北海道日本ハムファイターズ様より御招待券をいただき、札幌ドームへの野球観戦旅行を行いました。

6名の通所メンバーと、引率・運転の3名の職員が参加しました。試合は、エースのダルビッシュ投手が先発、打っては稲葉選手の活躍などで、見事に日本ハムファイターズが勝利！球場が一体となった「稲葉ジャンプ」も体験し、熱血ファイターズファンのメンバーも大喜びでした。

なお、今回の観戦旅行の実施にあたっては、北の大地賛助会より、メンバーの参加費補助として支出させていただきました。賛助会員の皆様に心より御礼申し上げます。



★「北見ぼんちまつり」素人縁日に今年も参加しました！

7月16日（金）～18日（日）、北見の夏を彩る恒例の「北見ぼんちまつり」。昨年に引き続き「北の大地」が素人縁日に出店しました。今年は、串ザンギ、チュロス、フライドポテトと、作業所で製造している石鱈やキーホルダーを販売しました。

昨年は雨と寒さに悩まされたぼんちまつりでしたが、今年は比較的天候にも恵まれたこともあり、昨年を上回る16万2272円の収益を得ることができました。

ぼんちまつりの収益につきましては、メンバーの行事費用として積み立てし、秋に予定されている宿泊研修旅行のメンバー参加費補助などに用います。



ス パ シ ー バ ★Спасибо（ありがとう）！

ポロナイスク市のみなさん！

北見市の友好都市、ロシア・サハリン州ポロナイスク市から北見市を訪問中の3名の音楽家の皆さんが、8月7日に中央地区住民センターで、北の大地のメンバーに素晴らしいフルート演奏や歌のプレゼントをしていただきました。

ポロナイスクの皆さん、ありがとうございました。
スパーシーバ！

▼メンバー交流会@若松自然休養村 (7/23)



① 食べたり →



② スポーツしたり ↓



③二人だけの世界に迷い込んだり…



③ 歌ったり ←

※通所・グループホームあわせて61名のメンバーが参加しました。

●今年1月30日、地域生活支援センター サポートネット北見の主催で、北見赤十字病院精神神経科の伊藤哲寛先生を講師にお迎えして、北網圏域地域移行研修家族大会が開かれました。出席されたメンバーから感想文を寄稿いただきました。

北網圏域地域移行研修家族大会 感想 石岡裕子

1月30日の家族会へ参加して思った事は、自分は幸福で周りの人に恵まれている事。

父は平成18年11月17日に亡くなり、母は同じ年の12月8日に亡くなり、言葉では表現できない衝撃でした。

幸い自分には兄と妹がいて、甥と姪の力も借りて無事に葬儀を終えることができました。

早いもので来年は父と母の七回忌です。

母へ伝えたいです。裕子は周りの良い人方にサポート頂き幸福ですと…。

北の大地の理事長様、本部長様、支援員の皆さま、サポートネットの方々、グループホームの世話人さん、いつも仲間に入れて下さり気をつけて下さるメンバーの皆さん、日赤の伊藤 Dr、看護婦さん、受付の伊勢谷さん、OTの作業療法士の武藤さん熊谷さん、月に2回訪問して下さる訪問看護師さん、伊藤ソーシャルワーカーさん、そしていつも支えてくれている兄と妹、入院中治療して下さった横溝 Dr、皆様へ感謝しています。ありがとうございます。

合掌

2010年2月1日

● 新入職員紹介 ●

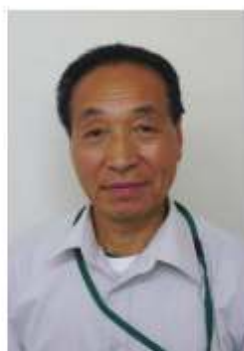
この4月から、北の大地に新たに4名のスタッフが加わりました。



ひわたし みき
★樋渡 未来★

【担当】本部事務

●北見商業高校出身の高卒ルーキーです。高校時代はソフトボール部だったので、おっとりした雰囲気の中に、並々ならぬ根性を秘めていることでしょう、きっと。



なかむら ののぶ
★中村 憲雄★

【担当】世話人（グループホーム北進1号・2号）

●ほがらかな「やさしいおじさん」ですが、実は前職は警察官で交通機動隊の隊長まで務めた経験の持ち主です。大工仕事も得意で、頼れるおじさんです。



いしかわ さちこ
★関川 稚恵子★

【担当】支援員

（軽食喫茶てんてこまい）

●ニコニコ笑顔がまぶしい関川さん。家では男の子2人を育てる肝っ玉母さんです。松本さんのきわどいジョークも笑顔でさらりとかわすスキルは流石です。



よしだ もとこ
★古田 元子★

【担当】支援員

（第二作業所担当）

●ムーミンの絵本の中から飛び出てきたような(?)やさしく穏やかな雰囲気の古田さん。実際ムーミンも好きだそうです、密かにイラストが得意だそうです。

■ 「地上デジタル放送受信支援」について ■

皆さんのテレビは、「アナログ」ですか？「デジタル」ですか？

地上アナログ放送の終了する平成23年7月24日まで、あと1年弱となりました。

現在、政府（総務省）が、経済的な理由等で地上デジタル放送（地デジ）への対応が困難な方を対象に、「地上デジタル放送受信支援」を行っています。

この支援を受けられるのは、おおまかに言うと以下の3つのいずれかにあてはまる方です。

- (1) 生活保護を受けている世帯
- (2) 障がい者がいる世帯で、かつ世帯員全体が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
- (3) 社会福祉事業施設に住んでいて、自分のテレビを持ちこんで見ている方

北の大地のグループホーム入居者は(3)にあてはまります。すでに、昨年度に申し込みされた方には、いままでのテレビに接続して地上デジタル放送を見ることができる簡易チューナーが配布されています。

総務省の支援の受付期間は12月28日までとなっています。北の大地では、引きつづき対象となる方に申請のお手伝いをしていますので、メンバーやご家族の方でお困りの方はご相談ください。

御寄付御礼

あたたかいご支援に心より感謝申し上げます（一般寄付 1月1日～6月30日）

株式会社アスタービル代表取締役 永原耕司様、
匿名希望2名様

以上の皆様方から、合計4万1千円のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。いただいた寄付金は、当法人の精神保健福祉・障がい者自立支援事業のために大切に使用させていただきます。

社会福祉法人 北の大地 理事長 鈴木 正末

★北見ライオンズクラブ様より もぎたてトウキビをいただきました★



8月28日（土）、北見ライオンズクラブ様より、北の大地のメンバーのために、もぎたてのとうきび約100本をご寄贈いただきました。

ライオンズクラブ会員の皆様方が当日収穫したばかりのとうきびは、すぐに作業所で茹でて、作業所メンバーや各グループホームの入居者に配らせていただきました。とっても甘くておいしいと好評でした。

北見ライオンズクラブの皆様、どうもありがとうございました！

北の大地賛助会から

社会福祉法人北の大地賛助会は、北の大地の運営をサポートし、事業活動への理解を広めることを目的として、平成21年4月に設立されました。設立初年度は、会員募集の呼びかけを行い、個人と法人・団体あわせて53名・219口の入会をいただき、21万9千円の会費収入をいただきました。

また、年4回発行されました「北の大地だより」の会員への発送を行い、法人事業についての情報提供を行いました。収支差額の19万3059円につきましては、本年度（平成22年度）への繰越金となっております。

今年度は、この「北の大地だより」の発行・発送の実施と併せまして、先日通所メンバーを対象に行いました札幌ドーム日本ハム観戦旅行会への補助など、通所事業所やグループホームのメンバー（利用者）の研修・社会参加活動への補助等を実施していくことを予定しております。

会員の皆様方には、厳しい経済情勢下ではございますが、引き続き今年度もご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。また、新規のご入会も随時受け付けております。詳しくは、法人本部（電話0157-31-3343）までお問い合わせください。

賛助会事務局担当 伊藤 暢彦



画 佐藤ふじ子

社会福祉法人 北の大地 (理事長 鈴木 正末)

〒090-0029 北見市北9条東1丁目14番地 北9条ビル
 TEL(0157)31-3343 FAX(0157)31-3346

通所型障害福祉サービス事業

ワークネット北見就労移行支援事業所
 ワークネット北見就労継続支援事業所
 サポートネット自立訓練(生活訓練)事業所
 サポートネット生活介護事業所

軽食・喫茶 てんてこまい

(平日午前11時～午後2時 営業)
 北見市北9条東1丁目15番地
 落合ビル1階
 TEL(0157)23-1867

グループホーム(共同生活援助事業)

北進1号/北進2号/北進5号/
 3条/玉水苑/綺羅/本町

地域生活支援センターサポートネット北見

(相談支援・退院促進事業)

北見市北9条東1丁目15番地
 落合ビル102号室
 TEL(0157)31-3399
 FAX(0157)31-3340

(編集後記)

暑いな暑いなと思っていたら、いつの間にか9月になっていました。しっかりしろ、俺!

[伊藤]

ご意見・ご感想は taichi@fukusi-sien.jp

北の大地だより 第6号

発行 平成22年9月

編集・発行 社会福祉法人北の大地